

皆様おはようございます。

いよいよ今週には12月に入りまして、私たちにとっては主のご降誕を待ち望むアドベント(降誕節)に入りました。

黙示録をずっと読み進めてまいりました。黙示録はその大半が恐ろしい裁きの預言の書だと恐れを持っておりましたが、読み進めるうち、黙示録は神様が裁きを遅らせて、神の民として一人でも多く救い出したいと切に願っておられる書であるように思います。

アドベントに入った礼拝ですが、今日の15章から、来週の神殿でのザカリアへの主の語り掛けに向かった太いつながりを感じましたので、今日は引き続き黙示録をご一緒に味わいたく願います。

1 またわたしは、天に大いなる驚くべきほかのしるしを見た。七人の御使が、最後の七つの災害を携えていた。これらの災害で神の激しい怒りがその頂点に達するのである。

最後の七つの災害。のちに七つの金の鉢との記述も出てきますが、最後の七つの出来事が記されます。

巻物の七つの封印、七つのラッパ、そして七つの金の鉢。七つの封印が解かれたのちにはすぐに世界の終わりが来るかと思いました。しかしそうではなく、引き続き七つのラッパが現れました。七つ目のラッパが成った時、すべてが終わるのかと思いました。しかしここには三たび、終わりの時がたちどころに来るのではなくて、また七つの金の鉢ということで、主の最後の審判が再びゆっくりと遅らせられているような印象を持ちます。見ようによっては、何度も何度も、21回にわたって痛めつけられる裁きの数々に恐れ、困惑し、がっかりするような思いもあるのですが、それとともに、どうしてそんなにも多くに渡って教えられ、警告を受けているのに人は頑固なままなのかと思います。しかしそれでもなお、最後の裁きと滅びを免れさせるために主が戸をたたき続けておられる、そういうお姿をここから感じるのです。

しかし、迫害されている聖徒たちからすれば、黙示録6章のこの言葉も理解できるのです。6:10 彼らは大声で叫んで言った、「聖なる、まことなる主よ。いつまであなたは、さばくことをなさらず、また地に住む者に対して、わたしたちの血の報復をなさらないのですか」。これに対して主は「彼らと同じく殺されようとする僕仲間や兄弟たちの数が満ちるまで、もうしばらくの間、休んでいるように」と言い渡されました。

これを踏まえて1節には、「わたしは、天に大いなる驚くべきほかのしるしを見た。」という言葉は、直訳すれば、「天に偉大なる、素晴らしいしるしを見た」とも取れる言葉です。それが七つの災害であるかぎりにおいては、そしてその災害によって人々が苦しみ、怪我をして死ぬことを思えば、偉大なる、素晴らしいしるしとはいいいがたいのです。「七人の御使が、

最後の七つの災害を携えていた。これらの災害で神の激しい怒りがその頂点に達する」というこの出来事は、恐ろしいばかりで、偉大なる素晴らしいしるしとは言い難いはずなのです。

しかし、先にも申しましたように、黙示録は、神様の裁きの書であると同時に神様の救いの書なのです。その裁きの中にも、悔い改めて神様を求める人が日に日に起こっているのであり、そのために神様は細かく細かく足踏みをして、歩を短く短く刻みながら、最後の裁きに合わせないために時を遅らせておられるように感じるのです。そしてそのご忍耐は、世界の終わりが二千年たっても来ていない今、引き続き続いていると理解できます。

1 テモテ 2:4 神は、すべての人が救われて、真理を悟るに至ることを望んでおられる。

2:5 神は唯一であり、神と人との間の仲保者もただひとりであって、それは人なるキリスト・イエスである。

その中で、しかし終わりの時が来ると、最後の時が来るとこの御言葉は語っています。神の激しい怒りが頂点に達する。人の不忠実と反逆の中にあって、神様の怒りが頂点に来て、猶予も終わりで最後の最後の時が来るとここには書いてあります。それは恐るべき時です。誰も今まで忍耐しつくされた神様に、まだ早いとか、忍耐がないとかいう事は、決してできません。そのような時が来るのです。私たちはそんな日が来るのではないと高をくくるわけにはいかないのです。人の身勝手な思いと行動は神様の怒りを頂点にまで高めるものなのです。そのつもりが人間には無くても、私たち人間の思いと行いとは、神様の怒りを頂点にもたらし、最後の裁きをもたらすものであるということを知覚すべきです。

2 またわたしは、火のまじったガラスの海のようなものを見た。そして、このガラスの海のそばに、獣とその像とその名の数字とにうち勝った人々が、神の立琴を手にして立っているのを見た。

そのような中で「偉大だ、素晴らしい」と言い得るのは、そのような人の罪の中でがんじがらめにされた混乱と困難の中、罪の圧政の中、エジプトの奴隷の搾取の状態の中から呪いと死の中から救い出していただいたということなのです。

コロサイ 1:13 神は、わたしたちをやみの力から救い出して、その愛する御子の支配下に移して下さった。

1:14 わたしたちは、この御子によってあがない、すなわち、罪のゆるしを受けているのである。

火の混じったガラスの海。そこは深い深い海で、困難に満ちていました。それは等々と満ち

あふれて、エジプトの騎兵たちの餌食にされようとしていた逃れた民の前の紅海であり、弟子たちを飲み込もうと口を開いたガリラヤ湖の水です。しかし彼らは、獣からも、その像からも、その名の数字からもうち勝ったのです。彼らは神の立琴を手にして立っていました。

3 彼らは、神の僕モーセの歌と小羊の歌とを歌って言った、「全能者にして主なる神よ。あなたのみわざは、大いなる、また驚くべきものであります。万民の王よ、あなたの道は正しく、かつ真実であります。

4 主よ、あなたをおそれず、御名をほめたたえない者が、ありましようか。あなただけが聖なるかたであり、あらゆる国民はきて、あなたを伏し拝むでしょう。あなたの正しいさばきが、あらわれるに至ったからであります」。

モーセの歌。申命記32章が思い起こされます。

32:1 「天よ、耳を傾けよ、わたしは語る、／地よ、わたしの口の言葉を聞け。

32:2 わたしの教は雨のように降りそそぎ、／わたしの言葉は露のようにしたたるであろう。若草の上に降る小雨のように、／青草の上にくだる夕立のように。

32:3 わたしは主の名をのべよう、／われわれの神に栄光を帰せよ。

32:4 主は岩であって、そのみわざは全く、／その道はみな正しい。主は真実なる神であって、偽りなく、／義であって、正である。

32:5 彼らは主にむかって悪を行い、／そのきずのゆえに、もはや主の子らではなく、／よこしまで、曲ったやからである。

32:6 愚かな知恵のない民よ、／あなたがたはこのようにして主に報いるのか。主はあなたを生み、あなたを造り、／あなたを堅く立てられたあなたの父ではないか。

32:7 いにしえの日を覚え、／代々の年を思え。あなたの父に問え、／彼はあなたに告げるであろう。長老たちに問え、／彼らはあなたに語るであろう。

32:8 いと高き者は人の子らを分け、／諸国民にその嗣業を与えられたとき、／イスラエルの子らの数に照して、／もろもろの民の境を定められた。

32:9 主の分はその民であって、／ヤコブはその定められた嗣業である。

32:10 主はこれを荒野の地で見いだし、／獣のほえる荒れ地で会い、／これを巡り囲んでいたわり、／目のひとみのように守られた。

32:11 わしとその巢のひなを呼び起し、／その子の上に舞いかけり、／その羽をひろげて彼らをのせ、／そのつばさの上にこれを負うように、

32:12 主はただひとりで彼を導かれて、／ほかの神々はあずからなかった。

32:13 主は彼に地の高き所を乗り通らせ、／田畑の産物を食わせ、／岩の中から蜜を吸わせ、／堅い岩から油を吸わせ、

32:14 牛の凝乳、羊の乳、／小羊と雄羊の脂肪、／バシヤンの牛と雄やぎ、／小麦の良い

物を食わせられた。またあなたはぶどうのしるのあわ立つ酒を飲んだ。

32:15 しかるにエシュルンは肥え太って、足でけた。あなたは肥え太って、つややかになり、／自分を造った神を捨て、／救の岩を侮った。

32:16 彼らはほかの神々に仕えて、主のねたみを起し、／憎むべきおこないをもって主の怒りをひき起した。

32:17 彼らは神でもない悪霊に犠牲をささげた。それは彼らがかつて知らなかった神々、／近ごろ出た新しい神々、／先祖たちの恐れることもしなかった者である。

32:18 あなたは自分を生んだ岩を軽んじ、／自分を造った神を忘れた。

32:19 主はこれを見、／そのむすこ、娘を怒ってそれを捨てられた。

32:20 そして言われた、／『わたしはわたしの顔を彼らに隠そう。わたしは彼らの終りがどうなるかを見よう。彼らはそむき、もとのやから、／真実のない子らである。』

32:21 彼らは神でもない者をもって、／わたしにねたみを起させ、／偶像をもって、わたしを怒らせた。それゆえ、わたしは民ともいえない者をもって、／彼らにねたみを起させ、／愚かな民をもって、彼らを怒らせるであろう。

32:22 わたしの怒りによって、火は燃えいで、／陰府の深みにまで燃え行き、／地とその産物とを焼きつくし、／山々の基を燃やすであろう。

32:23 わたしは彼らの上に災を積みかさね、／わたしの矢を彼らにむかって射つくすであろう。

32:24 彼らは飢えて、やせ衰え、／熱病と悪い疫病によって滅びるであろう。わたしは彼らを獣の齒にかからせ、／地に這うものの毒にあたらせるであろう。

32:25 外にはつるぎ、内には恐れがあって、／若き男も若き女も、／乳のみ子も、しらがの人も滅びるであろう。

32:26 わたしはまさに言おうとした、「彼らを遠く散らし、／彼らの事を人々が記憶しないようにしよう」。

32:27 しかし、わたしは敵が誇るのを恐れる。あだびとはまちがえて言うであろう、／「われわれの手が勝ちをえたのだ。これはみな主がされたことではない」。

32:28 彼らは思慮の欠けた民、／そのうちには知識がない。

32:29 もし、彼らに知恵があれば、これをさとり、／その身の終りをわきまえたであろうに。

32:30 彼らの岩が彼らを売らず、／主が彼らをわたされなかったならば、／どうして、ひとりて千人を追い、／ふたりで万人を敗ることができたであろう。

32:31 彼らの岩はわれらの岩に及ばない。われらの敵もこれを認めている。

32:32 彼らのぶどうの木は、／ソドムのぶどうの木から出たもの、／またゴモラの野から出たもの、／そのぶどうは毒ぶどう、／そのふさは苦い。

32:33 そのぶどう酒はへびの毒のよう、／まむしの恐ろしい毒のようである。

32:34 これはわたしのもとにたくわえられ、／わたしの倉に封じ込められているのではない

か。

32:35 彼らの足がすべるとき、／わたしはあだを返し、報いをするであろう。彼らの災の日は近く、／彼らの破滅は、／すみやかに来るであろう。

32:36 主はついにその民をさばき、／そのしもべらにあわれみを加えられるであろう。これは彼らの力がうせ去り、／つながれた者もつながれない者も、／もはやいなくなったのを、主が見られるからである。

32:37 そのとき主は言われるであろう、／『彼らの神々はどこにいるか、／彼らの頼みとした岩はどこにあるか。』

32:38 彼らの犠牲のあぶらを食い、／灌祭の酒を飲んだ者はどこにいるか。立ちあがってあなたがたを助けさせよ、／あなたがたを守らせよ。

32:39 今見よ、わたしこそは彼である。わたしのほかに神はない。わたしは殺し、また生かし、／傷つけ、またいやす。わたしの手から救い出さうものはない。

32:40 わたしは天にむかい手をあげて誓う、／「わたしは永遠に生きる。

32:41 わたしがきらめくつるぎをとぎ、／手にさばきを握るとき、／わたしは敵にあだを返し、／わたしを憎む者に報復するであろう。

32:42 わたしの矢を血に酔わせ、／わたしのつるぎに肉を食わせるであろう。殺された者と捕えられた者の血を飲ませ、／敵の長髪の頭の肉を食わせるであろう』。

32:43 国々の民よ、主の民のために喜び歌え。主はそのしもべの血のために報復し、／その敵にあだを返し、／その民の地の汚れを清められるからである」。

32:44 モーセとヌンの子ヨシュアは共に行って、この歌の言葉を、ことごとく民に読み聞かせた。

32:45 モーセはこの言葉を、ことごとくイスラエルのすべての人に告げ終って、

32:46 彼らに言った、「あなたがたはわたしが、きょう、あなたがたに命じるこのすべての言葉を心におさめ、子供たちにもこの律法のすべての言葉を守り行うことを命じなければならない。

32:47 この言葉はあなたがたにとって、むなしい言葉ではない。これはあなたがたのいのちである。この言葉により、あなたがたはヨルダンを渡って行って取る地で、長く命を保つことができるであろう」。

出エジプト記 15:1 そこでモーセとイスラエルの人々は、この歌を主にむかって歌った。彼らは歌って言った、／「主にむかってわたしは歌おう、／彼は輝かしくも勝ちを得られた、／彼は馬と乗り手を海に投げ込まれた。

15:2 主はわたしの力また歌、わたしの救となられた、／彼こそわたしの神、わたしは彼をたたえる、／彼はわたしの父の神、わたしは彼をあがめる。

15:3 主はいくさびと、その名は主。

15:4 彼はパロの戦車とその軍勢とを海に投げ込まれた、／そのすぐれた指揮者たちは紅海

に沈んだ。

15:5 大水は彼らをおおい、彼らは石のように淵に下った。

15:6 主よ、あなたの右の手は力をもって栄光にかがやく、／主よ、あなたの右の手は敵を打ち砕く。

15:7 あなたは大いなる威光をもって、／あなたに立ちむかう者を打ち破られた。あなたが怒りを発せられると、／彼らは、わらのように焼きつくされた。

15:8 あなたの鼻の息によって水は積みかさなり、／流れは堤となって立ち、／大水は海のもなかに凝り固まった。

15:9 敵は言った、『わたしは追い行き、追い着いて、／分捕物を分かち取ろう、／わたしの欲望を彼らによって満たそう、／つるぎを抜こう、わたしの手は彼らを滅ぼそう』。

15:10 あなたが息を吹かれると、海は彼らをおおい、／彼らは鉛のように、大水の中に沈んだ。

15:11 主よ、神々のうち、だれがあなたに比べられようか、／だれがあなたのように、聖にして栄えあるもの、／ほむべくして恐るべきもの、／くすしきわざを行うものであろうか。

15:12 あなたが右の手を伸べられると、／地は彼らをのんだ。

15:13 あなたは、あがなわれた民を恵みをもって導き、／み力をもって、あなたの聖なるすまいに伴われた。

15:14 もろもろの民は聞いて震え、／ペリシテの住民は苦しみに襲われた。

15:15 エドムの族長らは、おどろき、／モアブの首長らは、わななき、／カナンの住民は、みな溶け去った。

15:16 恐れと、おののきとは彼らに臨み、／み腕の大いなるゆえに、彼らは石のように黙した、／主よ、あなたの民の通りすぎるまで、／あなたが買いとられた民の通りすぎるまで。

15:17 あなたは彼らを導いて、／あなたの嗣業の山に植えられる。主よ、これこそあなたのすまいとして、／みずから造られた所、／主よ、み手によって建てられた聖所。

15:18 主は永遠に続べ治められる」。

そして小羊の歌。ビリピ書のこの言葉が思い起こされます。

2:6 キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、

2:7 かえって、おのれをむなしうして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、

2:8 おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。

2:9 それゆえに、神は彼を高く引き上げ、すべての名にまさる名を彼に賜わった。

2:10 それは、イエスの御名によって、天上のもの、地上のもの、地下のものなど、あらゆるものがひざをかがめ、

2:11 また、あらゆる舌が、「イエス・キリストは主である」と告白して、栄光を父なる神に帰するためである。

旧約の時代にも、新約の時代にも神様の救いが高らかにたたえられています。

3 全能者にして主なる神よ。あなたのみわざは、大いなる、また驚くべきものであります。万民の王よ、あなたの道は正しく、かつ真実であります。

4 主よ、あなたをおそれず、御名をほめたたえない者が、ありましようか。あなただけが聖なるかたであり、あらゆる国民はきて、あなたを伏し拝むでしょう。あなたの正しいさばきが、あらわれるに至ったからであります」。

聖徒にとっては、戦いの終わりがあります。そして引き上げられて神様を賛美する、幸いと平安なる時が備えられているのです。あらゆる国民。主を信じない、考えにも入れない、恐れもなく、思うままにふるまう無頼の民はついに神様の前に伏し拝むのです。ここに平和があります。神様の裁きの前に、民が悔い改め、伏し拝み、ついに神様の御心が地に成るのです。

5 その後、わたしが見ていると、天にある、あかしの幕屋の聖所が開かれ、

6 その聖所から、七つの災害を携えている七人の御使が、汚れのない、光り輝く亜麻布を身にまとい、金の帯を胸にしめて、出てきた。

7 そして、四つの生き物の一つが、世々限りなく生きておられる神の激しい怒りの満ちた七つの金の鉢を、七人の御使に渡した。

8 すると、聖所は神の栄光とその力とから立ちのぼる煙で満たされ、七人の御使の七つの災害が終ってしまうまでは、だれも聖所にはいることができなかった。

汚れのない、光り輝く亜麻布を身にまとった七人の御使が聖所から至聖所から出てきます。あの神様の激しい怒りに満ちた七つの鉢のゆえにもたらされる災害が一つ一つ明らかになります。

聖所は神の栄光と力で満ち、臨在は濃厚な煙となって満ちあふれています。神様の激しい怒りに満たされた裁きが誰もその聖所に入ることは出来ません。

この事が示されてから、ヨハネに示されてから今に至るまで、どれだけの月日が過ぎたのでしょうか。聖所は主の臨在に満ちています。怒りの御業は満ち溢れます。

しかしその聖所で起こったことを思い起こしましょう。その聖所の中で、洗礼者ヨハネの父ザカリアに告げられたことを。

神様はその激しい怒りを愛する御子イエス・キリストに負わせて、人の罪を赦してくださいました。何という恐れ多い神様の御業なのでしょう。

私たちは、この聖所の中で、神様が御子の血の贖いをなして私たちと神様との間を調停して

下さったイエス様のことを思い、頂点に達した神様の怒りと裁きから私たちを過ぎこさせるための尊い小羊のゆえに神様の御名をほめたたえようではありませんか。

3 彼らは、神の僕モーセの歌と小羊の歌とを歌って言った、「全能者にして主なる神よ。あなたのみわざは、大いなる、また驚くべきものであります。万民の王よ、あなたの道は正しく、かつ真実であります。

4 主よ、あなたをおそれず、御名をほめたたえない者が、ありましようか。あなただけが聖なるかたであり、あらゆる国民はきて、あなたを伏し拝むでしょう。あなたの正しいさばきが、あらわれるに至ったからであります」。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。七つの封印に七つのラッパ、そして七つの金の鉢。あなたは最後の時を遅らせ、遅らせて来られました。そしてあなたは出エジプトの出来事のように、圧政を敷く者からの解放をなして下さいます。怒りに満ちあふれた神様の臨在なさる聖所には誰も入ることが出来ませんでした。神様はザカリアに救いの預言を与えられました。今なお主は終わりの時を遅らせて、罪のもとから救い出そうと願っていて下さいます。主の御名をほめたたえます。子供からお年寄りまで、あらゆる年齢の方々が、この時こそ教会にて、イエス・キリストに出会うことができますようお願いいたします。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン